

梅雨明けの猛暑を支える現場力——白山事業所の連帯感と横乗りレポート

石川県でも梅雨が明け、連日の猛暑が続いています。気温35℃を超える日も多く、配送現場は一年で最も厳しい時期です。炎天下での容器交換や車内温度の上昇など負荷が大きい中でも、配送員はこまめな水分補給と休憩を徹底し、安全運転と安定供給を最優先に業務にあたっています。

今回は、春に続く横乗り第2弾として白山事業所の配送メンバーと同行しました。車内では、日頃の課題、改善したい点、夏場の苦労など、現場ならではのリアルな声を多く聞くことができ、コミュニケーションを深める貴重な機会となりました。白山事業所は、ベテランと若手が良い比率で構成されており、互いを尊重しながら良いチームワークを築いています。経験豊富なベテランが安全の要点や現場判断を伝え、若手がその姿勢を素直に吸収しながら積極的に動く——そんな相互作用が日々の業務の中で自然に生まれています。また、病気で現場を離れていた配送員がいた時期もありましたが、シリンダー配送員9名が互いに支え合い、連携して現場を凌いできた強い連帯感が、この事業所の大きな強みです。横乗りを通じて、こうした「助け合いの文化」がしっかり根付いていることを改めて感じました。



熱中症対策は夏場の重要課題です。空調服は充填場で使用できず、電気を用いない注水型の気化熱ベストのサンプル検証も行いましたが、十分な効果は得られませんでした。より良い対策品があれば、エナジーサポート石川へご紹介いただけると助かります 😊

 エナジーサポート石川

猛暑の現場で見たチームの強さと、改善へ向けた率直な声